

# 2019年6月期 第1四半期 決算説明補足資料



上場市場 : 東証マザーズ  
証券コード : 9450

## 2019年6月期第1四半期決算概要

---

3

## 会社概要

---

10



**Fibergate Inc.**

株式会社ファイバーゲート

# 2019年6月期第1四半期決算概要

# 1Q連結決算実績概要

- 1Qは総じて好調に推移。比較的高採算の案件の売上計上や生産性向上が奏功
- 通期計画への進捗も順調。ただし、通期見通しは現時点で据え置き

(百万円)	2019/6 1Q(実績)	2019/6 (通期計画)	進捗率	(ご参考) 2018/6(実績)
売上高	1,293	4,976	<b>+26.0%</b>	3,977
レジデンスWi-Fi事業	956	3,762	<b>+25.4%</b>	2,862
フリーWi-Fi事業	337	1,214	<b>+27.7%</b>	1,115
営業利益	304	670	<b>+45.4%</b>	560
レジデンスWi-Fi事業	336	907	<b>+37.0%</b>	818
フリーWi-Fi事業	104	386	<b>+26.9%</b>	272
調整	▲136	▲622	—	▲530
経常利益	298	602	<b>+49.5%</b>	510
当期利益 (四半期純利益)	189	346	<b>+54.6%</b>	312

## 1 レジデンスWi-Fi事業

- パートナーとの協業拡大により、フロービジネスでは比較的高採算の案件で納品が集中
- 利用料収入が主体のストックビジネスも順調に拡大

## 2 フリーWi-Fi事業

- 訪日旅行者増、東京オリンピックへの準備等を背景としたWi-Fiスポット整備ニーズは増加基調
- それら需要を取り込み、ホテル向けなどを主体に当社のWi-Fiサービス、Wi-Fi機器販売も拡大

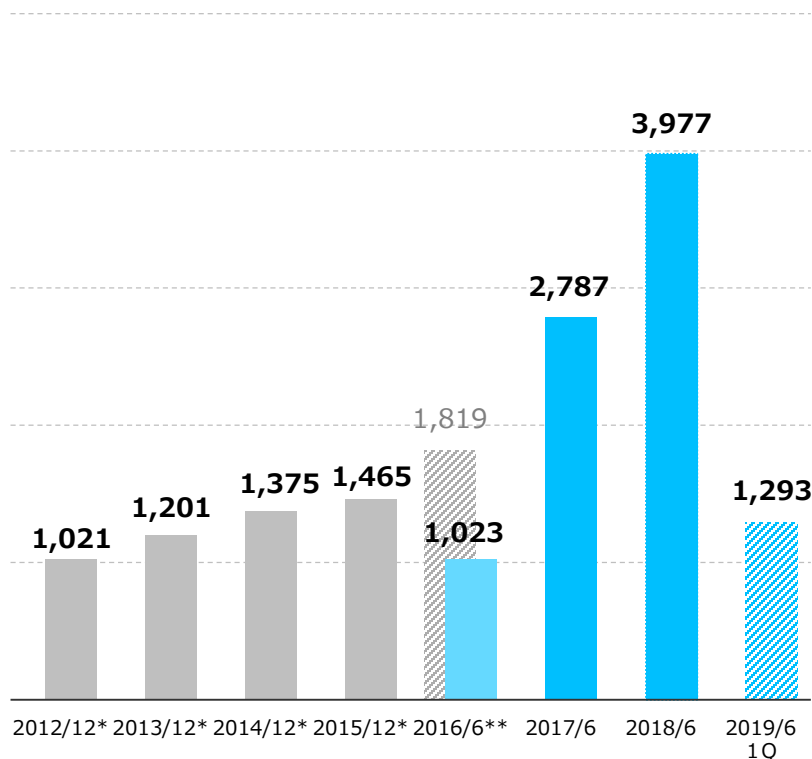
## 3 業務効率化による生産性改善

- オペレーション効率化により、労働生産性の向上、経費抑制に注力
- 売上高販管費比率は、前年通期実績の41.7%から1Qは35.1%まで低下を実現

- 実質的に7期連続の増収ペースで推移。売上は6年で約4倍に拡大
- 1Qの経常利益率は、高採算案件の売上計上という特殊要因あるも、23%まで上昇

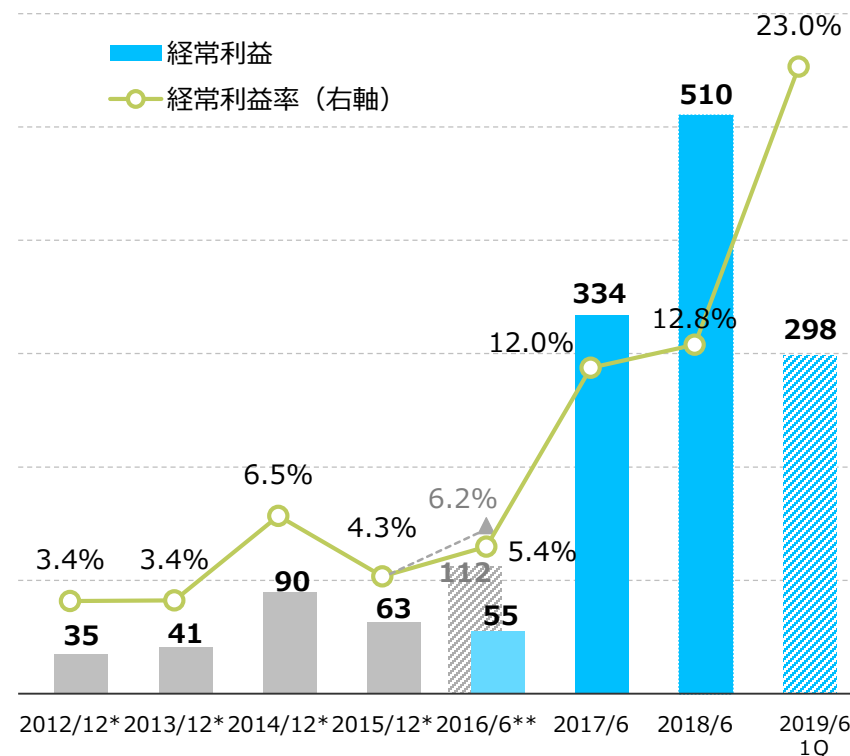
## 売上高

(単位：百万円)



## 経常利益・経常利益率

(単位：百万円)

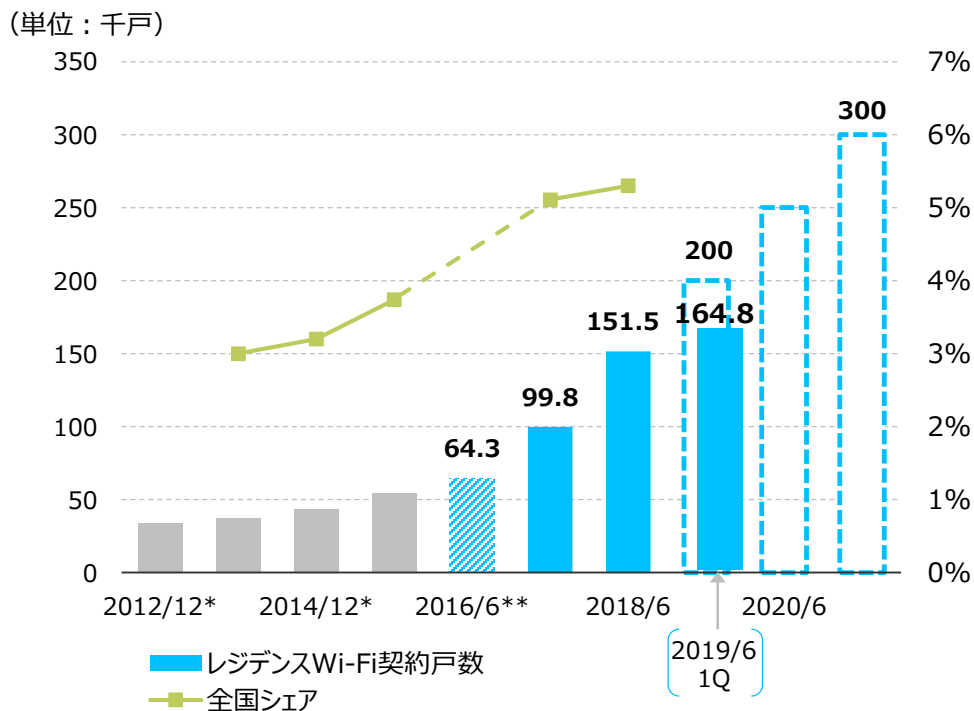


\*2015/12期以前は単独決算 \*\*2016/6期は6ヵ月決算。斜線部は12ヵ月のみなし決算

※数値については百万円以下は四捨五入表記

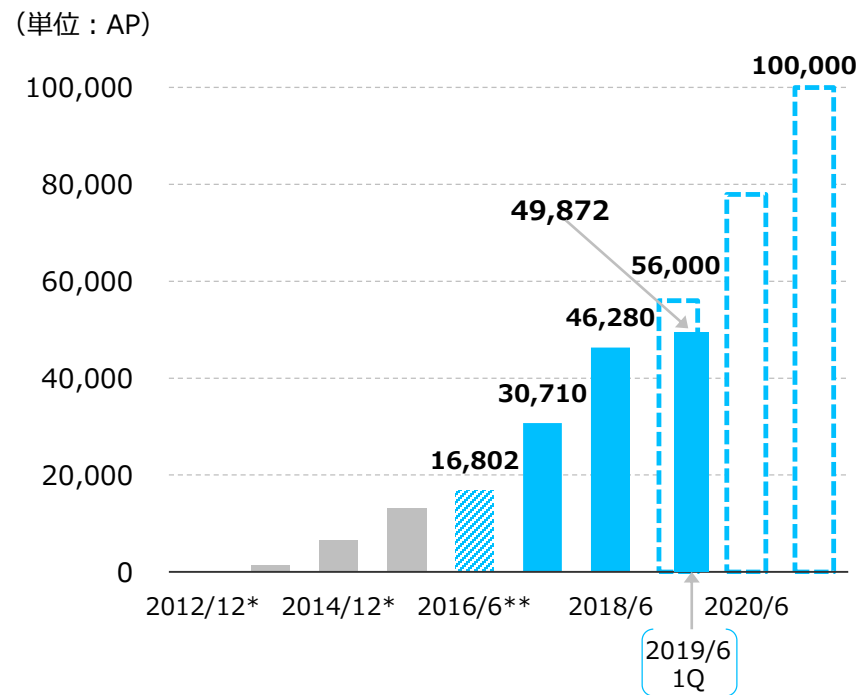
- レジデンスWi-Fiの累積契約戸数は、パートナー企業との営業活動により順調に拡大
- フリーWi-Fiのアクセスポイントも、訪日客やオリンピック対応を追い風に順調に拡大

レジデンスWi-Fi契約戸数と全国シェア (注1) の推移



\*2015/12期以前は単独決算 \*\*2016/6期は6ヵ月決算

フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注2) の推移



出所：全国シェアは、全戸一括型マンションISPシェア調査（MM総研発表）

注1：2014/3末、2015/3末、2016/3末、2017/3末、2018/3末のデータ

注2：当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

# 連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率は36.3%まで上昇。財務の安定性は着実に向上
- 売掛債権、固定資産の増加は売上増に伴うもの。借入金の圧縮も継続

(百万円)	2017/6	2018/6	2019/6 1Q	前期差異	増減率
流動資産	1,776	2,202	<b>1,982</b>	▲220	▲9.9%
現預金	773	1,118	<b>828</b>	▲289	▲25.9%
売掛金	831	918	<b>1,020</b>	+102	+11.1%
棚卸資産	131	138	<b>106</b>	▲32	▲23.5%
固定資産	1,270	2,154	<b>2,328</b>	+173	+8.0%
有形固定資産	1,188	2,020	<b>2,203</b>	+183	+9.0%
総資産	3,054	4,364	<b>4,317</b>	▲47	▲1.0%
負債	2,640	2,984	<b>2,747</b>	▲236	▲7.9%
有利子負債	1,950	2,300	<b>2,054</b>	▲245	▲10.6%
その他	690	684	<b>693</b>	+8	+1.3%
純資産	413	1,380	<b>1,569</b>	+189	+13.7%
負債純資産合計	3,054	4,364	<b>4,317</b>	▲47	▲1.0%



- 通期業績は従来見通し据え置き。前年比20%の営業増益を想定
- 高採算案件の売上計上という特殊要因は2Q以降漸減するも、基調は順調

(百万円)	2018/6 実績	2019/6 予想	前年同期比
売上高	3,977	<b>4,976</b>	+25.1%
営業利益	560	<b>670</b>	+19.7%
経常利益	510	<b>602</b>	+18.2%
当期純利益	312	<b>346</b>	+11.1%
配当金	0	—	—



**Fibergate Inc.**

株式会社ファイバーゲート

# 会社概要



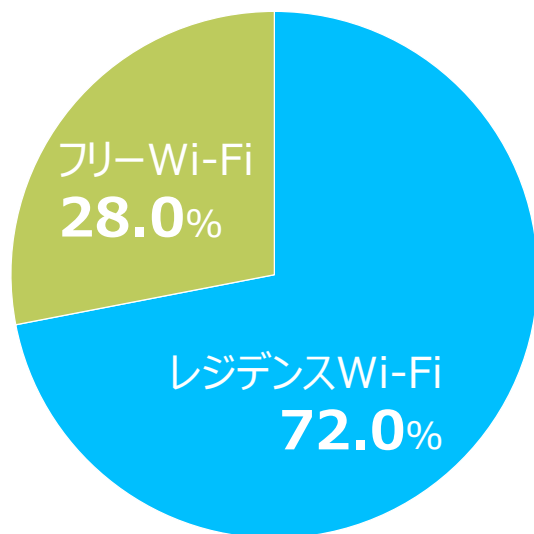
**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、  
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）  
独立系Wi-Fiソリューション企業\***

**\*独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）  
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在11社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの主要事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、売上構成は72.0%（2018/6期）
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳



2018/6期実績

## レジデンス Wi-Fi事業



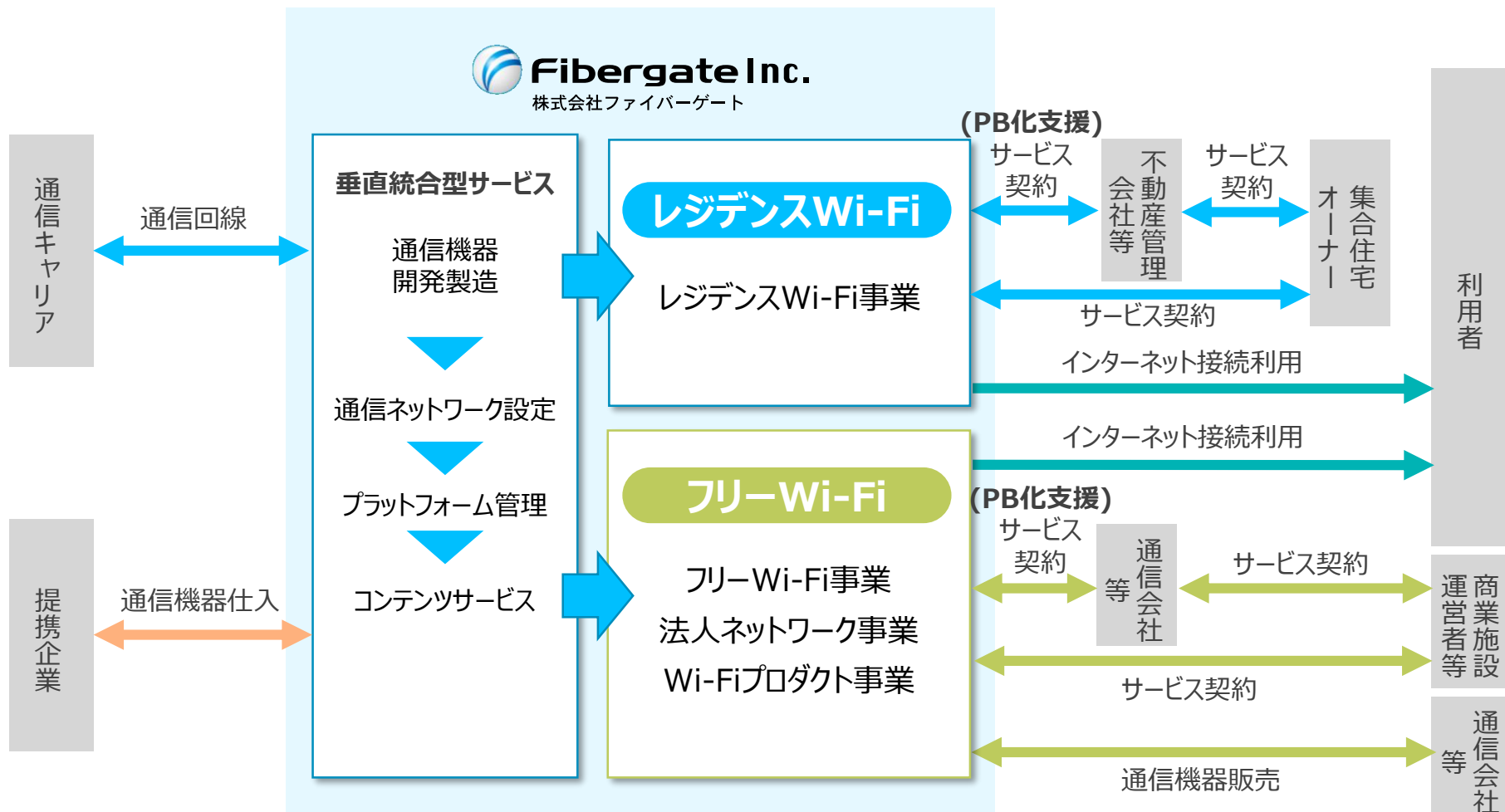
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー

## フリー Wi-Fi事業

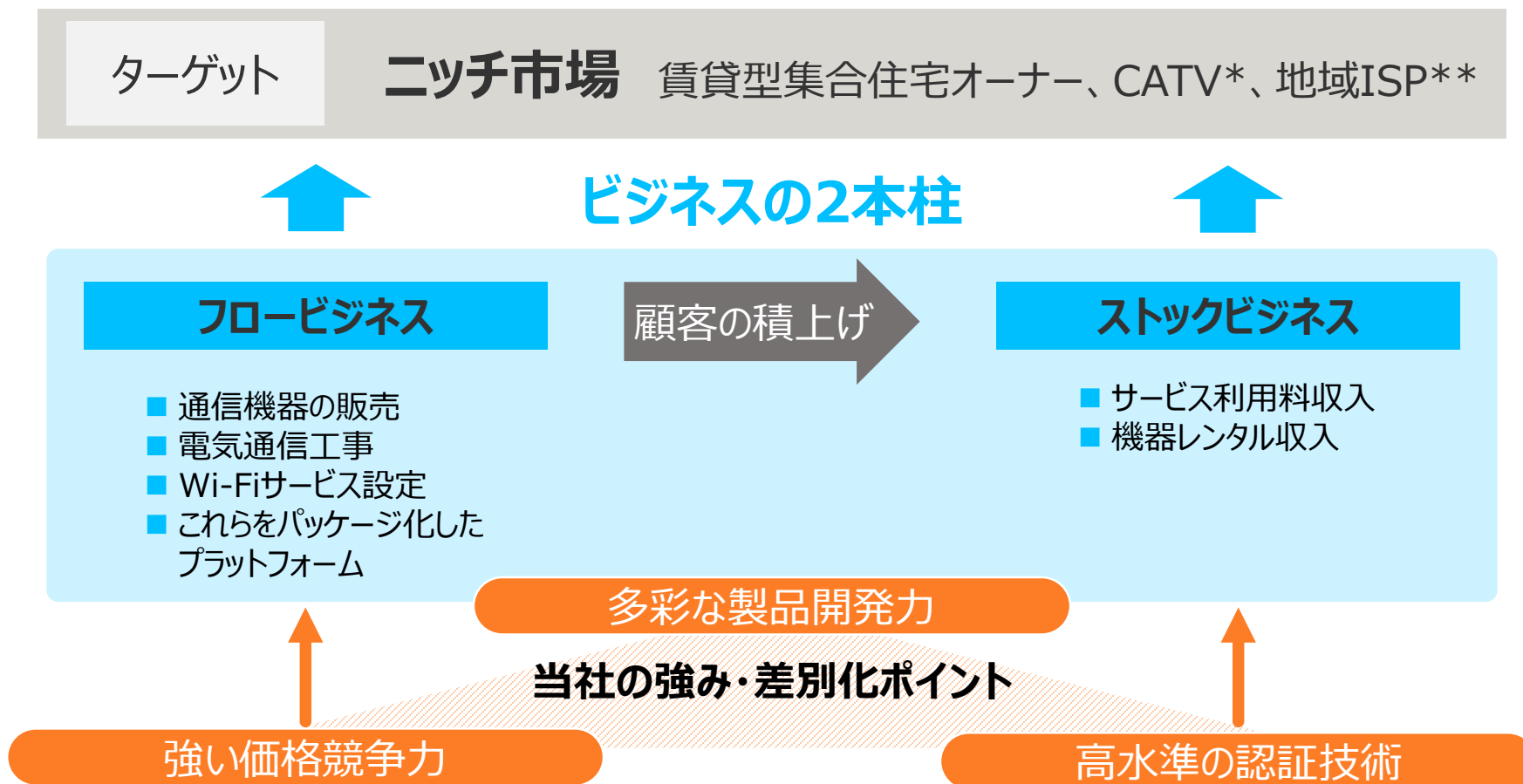


- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業  
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業  
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



\*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

\*\*ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

# ① ニッチ市場の創出

- 競合他社とは異なる市場に焦点
- インフラ提供に専念し、顧客のPB化ビジネスの拡大に貢献

	当社のターゲット・特色	競合他社のターゲット・特色
レジデンス分野	アパート・中小型マンション	大規模マンション
	既築・賃貸	新築・分譲
	一貫サービス提供による顧客のPB化サポート	自社ブランドによる展開
フリー分野	店舗+交通(バス、船舶他)	店舗
	多言語サービス	国内利用者
	一貫サービス提供による顧客のPB化サポート	自社ブランドによる展開
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中規模サイズの潜在需要掘り起しに注力</li> <li>・サービスの汎用性はシンプルな設計で確保</li> <li>・利用者へのリーチは顧客主導とし、当社は顧客のPB化サポートに専念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい建築物向けに注力</li> <li>・大規模展開により汎用的なサービスを提供</li> <li>・利用者へのリーチも独自展開(顧客の自由度は限定的)</li> </ul>

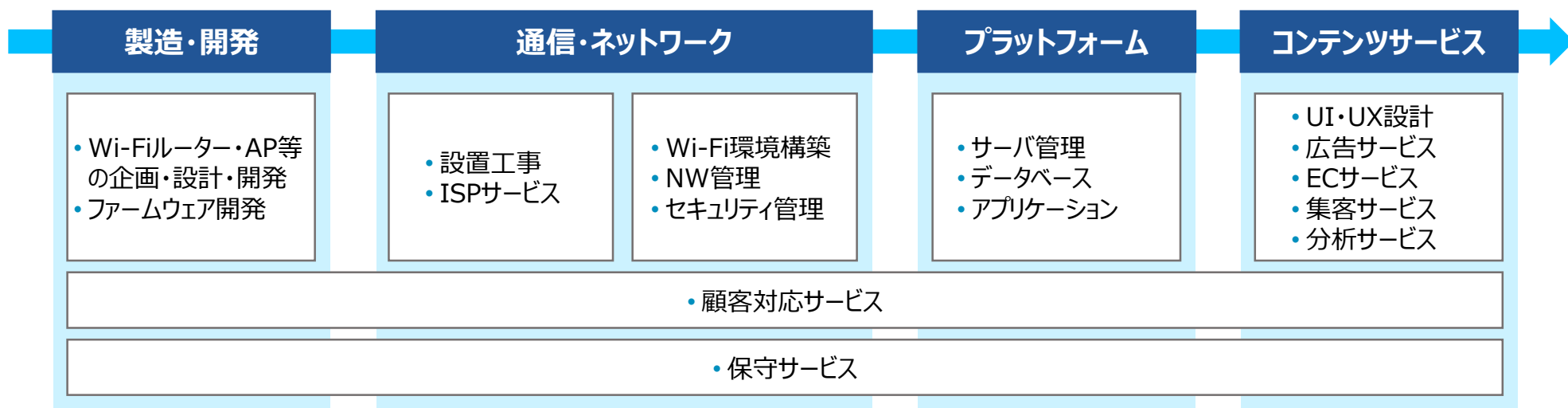
ニッチ市場を当社自ら創出し、競合他社との棲み分けにより事業展開

## ②-1強い価格競争力/多彩な製品開発力

- Wi-Fiに関連するサービスを一気通貫で提供
- 顧客ニーズを獲得し、製品開発力の向上に活用

### 競争力をもたらす仕組み

#### 1 垂直統合型サービス 機器開発・製造～サービス提供～サポートを自社で対応



**顧客のメリット：1ストップショップとなり、利便性向上**

**当社のメリット：付加価値の最大化実現+魅力ある製品の開発力向上**

AP：アクセスポイント、ISP：インターネットサービスプロバイダ、NW：ネットワーク、UI：ユーザーインターフェース、UX：ユーザーエクスペリエンス



## ②-2強い価格競争力/多彩な製品開発力

- 安価なベンダーを確保
- 利便性に注力したシンプルな設計

### 競争力をもたらす仕組み

#### 2 ファブレス体制

当社

設計、プログラミング、製造管理、アフターサポート・メンテナンス

製造委託先

台湾を中心とする複数の企業、製造・組立を委託

当社はよりコストパフォーマンスの高い企業を常時選択することが可能

#### 3 シンプルな設計

余計な付加機能を抑制し、低コストを実現

具体例

- 壁埋め込み型Wi-Fiルーター（累積約10万台超のヒット商品）
- 簡単セットアップ型新製品など

### ③ 高水準の認証技術

- 厳格な認証システムを供給できる少ない企業の一つ
- 画面カスタマイズ化で、顧客のPB化支援に貢献

認証システムを構成する機能	低レベル	高レベル
①アクセス端末の識別	なし	デバイスの特定/SNS経由の属性特定
②アクセス画面のリダイレクト	アクセスポイント毎に設定	地域/業種 等柔軟に設定
③アクセス情報のトラッキング	なし	回数、場所、動線および属性を紐付け/分析
④電気通信事業法に基づく重要事項説明	説明機会が限定的	法律に基づき柔軟に説明機会を設定

### 当社の認証システム

- 端末の固有識別子の読込/データベースでの管理（アクセス情報の識別/管理）
- 端末固有情報と属性情報、アクセス情報を紐付け分析（トラッキング情報分析）
- 当社データベースの情報に基づくリダイレクト設定（高度かつ柔軟な設定）
- リダイレクト機能により電気通信事業法に基づく重要事項説明を柔軟に実行

+

- 認証画面のカスタマイズ化も可能

本資料は、株式会社ファイバーゲートおよび関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。

本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

## 【お問合せ先】

株式会社ファイバーゲート  
経営管理本部  
TEL : 011-204-6121